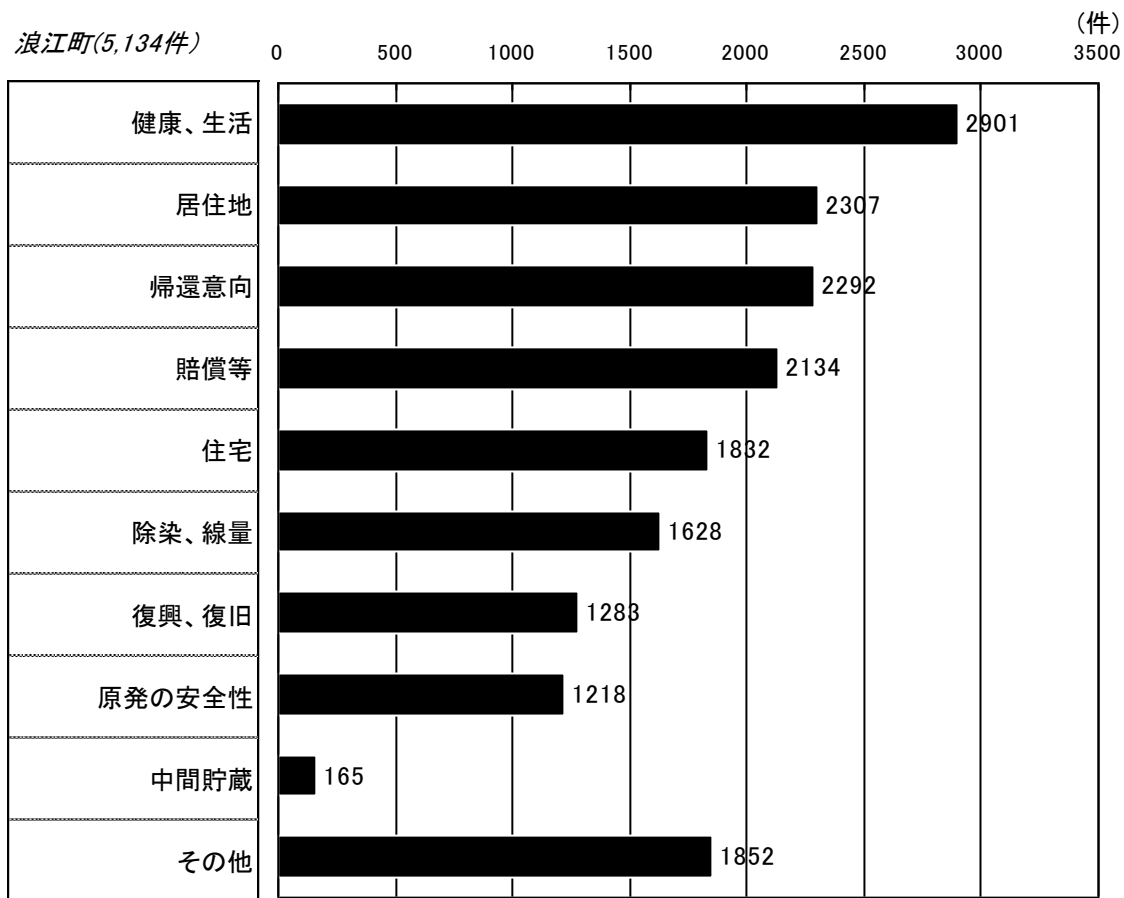


7 国・自治体への要望、復興に対する展望や気持ちについて

問 15 国や自治体への要望、復興に対するあなたの展望やお気持ちなどを自由にお書きください。

国や自治体への要望、復興に対する展望や気持ちについて尋ねたところ、5,134 件の自由回答を得た。最も発言の多いのは「健康、生活」に関する内容(2,901 件)で、以下「居住地」(2,307 件)、「帰還意向」(2,292 件)、「賠償等」(2,134 件)、「住宅」(1,832 件)、「除染、線量」(1,628 件)、「復興、復旧」(1,283 件)、「原発の安全性」(1,218 件)、「中間貯蔵」(165 件)の順となっている。(図表 7-1)

図表 7-1 国・自治体への要望、復興に対する展望や気持ち(自由回答)



(同一対象者の発言が複数内容にわたっている場合は、件数として内容ごとに件数カウントしている。)

図表 7-2 国・自治体への要望、復興に対する展望や気持ち(代表的意見抜粋)

●健康、生活

性別	年齢	記載内容
男性	10代	僕達は、いつまで被災者でいればよいのでしょうか。
男性	20代	長期的な健康管理をお願いしたい。
男性	40代	すべて元の生活に戻れるようにしてほしい。疲れた。
男性	50代	自分の仕事もきまらず、この先の生活設計が立たない。賠償金では不安がある。
男性	60代	1日でも早く、家族と暮らしたい。
女性	20代	家族が集まるのは、浪江と決めている。
女性	20代	町民、特に子供達の健康、安全を第一に考えて頂きたい。
女性	60代	会社も退職し、これからの1人生活が不安です。
女性	60代	先の見ない生活に、もううんざりしている
女性	70代	老後の事が心配で、夜も眠れない時があります。

●居住地

性別	年齢	記載内容
男性	20代	区域再編を早くしてもらいたい。
男性	30代	一日も早く仮の町ができてほしい。3年以上も待てない。
男性	40代	福島市にコミュニティーを作してほしい。
男性	60代	区域見直しは、大字の行政区ですべて線引きされていることには、納得できない。
男性	60代	町民全員が一斉に避難したので、町民全員が一斉に避難先から戻れるように、環境整備をして頂きたい。
女性	10代	自宅を失った人の居住地を確保してください。
女性	30代	なるべく、同じ学校の子供が近くに住めるようにしてください。
女性	40代	町外コミュニティ建設を、スピード感をもって進めてほしい。
女性	40代	とにかく安全な場所の自分の家で、落ち着きたい。

●帰還意向

性別	年齢	記載内容
男性	10代	学校を卒業する頃には、戻れるようにしてほしい。
男性	20代	帰れるか、帰れないかをハッキリして欲しい。
男性	30代	仕事がなければ、戻るのは難しいと思う。
男性	60代	早く浪江町に帰りたい。
男性	70代	生きて帰りたい。
女性	30代	本当に帰れるようになるのか。
女性	50代	浪江町に帰ることが出来るのは、いつごろになりますか。
女性	60代	本当に帰れるのでしょうか。本当に帰ったとしたら、生活が成り立つのでしょうか。
女性	70代	若い人が戻らないので、生活できない。
女性	80歳以上	高齢なので、1日も早く帰りたいです。

●賠償等

性別	年齢	記載内容
男性	10代	人災なので、賠償をきちんとしてほしい。
男性	30代	納得する賠償金を出してほしい。
男性	40代	東電に、土地建物を買い上げてもらいたい。
男性	60代	東京電力に、1日も早く賠償金を出してほしい。
男性	80歳以上	普通に生活出来る補償をして欲しい。
女性	30代	住宅の支援を続けてほしい。
女性	40代	自宅があるので、しっかり賠償をしていただきたい。
女性	50代	早く、賠償額を示してもらいたい。
女性	60代	以前の生活が出来るように、補償してもらいたい。
女性	70代	賠償額を上げてもらいたい。

●住宅

性別	年齢	記載内容
男性	20代	早く、今住んでいる地域に災害公営住宅を作ってほしい。
男性	30代	災害住宅を早く作ってほしい。
男性	40代	プライバシーが確保されている住まいに、住みたい。
男性	60代	ペットと暮らせる一戸建て住宅を造ってください。
男性	70代	災害公営住宅等早急に建設をしてください。
女性	10代	仮設住宅をもっと住みやすくするべきです。もう少し配慮してください。
女性	30代	早く仮設住宅から出たいです。普通の住宅に住みたいです。
女性	60代	1日も早く、住宅を用意してほしいです。家族全員で暮らせるような家を本当に用意出来るのですか？
女性	60代	早く浪江に帰りたいが、帰れないなら一日も早く公営住宅に入居したいです。
女性	70代	復興住宅は、行政区単位にして欲しい。

●除染、線量

性別	年齢	記載内容
男性	20代	除染の進行状況を、もっと明確に伝えてほしい。
男性	30代	除染効果を検証し、場合によっては除染予算を見直すこと。
男性	40代	除染よりも先に、費用を賠償に当ててほしい。
男性	50代	局所的な除染では帰還できない。山林等も全面除染をお願いしたい。
男性	70代	早く除染して、住める環境にしてください。
女性	20代	除染にお金をかけてもムダだと思う。
女性	30代	森や林から除染をしてほしい。早く復興してほしい。
女性	30代	放射能の影響が一番心配。戻ったら、将来子供の結婚に影響があるのではないかと、とても心配です。
女性	50代	除染がいつまでに終わるのか。いつまでに戻れるか、はっきりしてほしい。
女性	60代	こんな除染で、本当に戻って住んで大丈夫なのですか。

●復興、復旧

性別	年齢	記載内容
男性	20代	インフラ整備や公共施設の再開が、最も重要であると感じる。
男性	30代	町内に最終処分場を作っても復興を急いでほしい。
男性	50代	正確な復興スケジュールを立てて頂きたい。私はそれに合わせて計画を立てたい。
男性	50代	復興に向けての道しるべを、早く示してほしい。
男性	60代	ライフラインの早期復旧を、お願いしたい。
女性	10代	早く道が通れるようになってほしい。JRが再開してほしい。
女性	20代	無駄な事にお金を使わずに、ちゃんと復興に使って欲しい。
女性	60代	復興と言う言葉ばかりで、なかなか理解できない。
女性	60代	政権が代わったからには、早い復興を願います。
女性	70代	全てに関して、対応が遅い。本当に復興出来るのか？不安。

●原発の安全性

性別	年齢	記載内容
男性	10代	原子力発電所の安全確保が大前提！
男性	30代	原発の安全を確保して、若者が帰ってきてくれるような町になれば、と思っています。
男性	50代	原発の廃炉が完了しない限り、安全、安心とは言えないので、慎重に避難解除を決めてほしい。
男性	60代	一日も早く、原発をコントロール出来る状態にしてほしい。
男性	80歳以上	原発を収束して、早く戻れるようにしてほしい。
女性	10代	100%安全になったら帰りたいです。無理だと思うけど。
女性	40代	原発の廃炉ができていないのに、なぜ浪江に帰そうとするのか理解できない。
女性	50代	再び東京電力第一原子力発電所の事故が起きないかが、不安です。線量のはかり方が信用できない。
女性	60代	原発や放射性物質に対する不安が、いつもつきまとっています。原発の安定と廃炉、除染が速く進むようにしてほしい。
女性	60代	放射能に関する安全性がわからない。

●中間貯蔵

性別	年齢	記載内容
男性	20代	浪江町を中間貯蔵施設にしてください。たしかに、自分の町は大事ですが、国のためでもあるし、これ以上他県に迷惑をかけないでほしい。自分らの町が汚れてるなら、わざわざ綺麗にしないで、汚れた物を保管できる場所を作ってください。
男性	30代	中間貯蔵施設が最終的な永久貯蔵にならないことの確約。
男性	40代	中間貯蔵施設を双葉郡に作れば、復興は望めない。
男性	40代	放射性廃棄物の最終処分場を双葉郡内(浪江、双葉、大熊、富岡)に建設してください。双葉郡は最終処分場の建設を前提とした復興のあり方を考えてください。「最終処分場は県外へ」という幼稚で人として恥ずかしい事は言わないでください。最終処分場と復興をセットで考えなければ浪江町(双葉郡)の存続は無いと思います。
男性	70代	中浜地区は津波で何も残っていない。もう浪江町へは住めないのだから、1日も早く土地を買い上げて欲しい。それがないと、他の土地の購入も出来ず前へ進めない。原発から10km圏内は国が国有化して管理し、住民には他の土地へ移ってもらうのが理想だと思う。そうしなければ、いつまで経っても中間貯蔵施設も出来ず、復興は進まないと思う。国は本気になって覚悟を決めて欲しい。
女性	30代	除染をしても、元のレベルまで線量が下がるとは考えられないので、双葉郡内は国に買い取ってもらいたい。将来的に最終処分場を建設し、処理していくしかないと思う。生まれ育った故郷が失われるのは悲しいが、将来のことを考えるとしかたがない。子供たちには、自由に生きてほしい。
女性	40代	手抜き除染の報道は、ほんの一握りが公になっただけで、全てを除染するというのは無理だと思う。そんなことにお金を使うなら賠償を速やかに行ってほしい。国も、賠償金を払いたくなくて少しでも早く帰そうとしていると思うが、土地を買い上げて、中間貯蔵施設を作ったらよいと思う。大熊や双葉に中間貯蔵施設を作るなら、浪江に帰りたいとは思わない。
女性	60代	誰も自分のところには放射能を持ってきてほしくありません。かといって、このままでは動きがとれません。(中間貯蔵施設)強い決断力をもって実行して欲しいものです。私は、六十代ですが、子供達には残したくないものです。なんとか自分達のところでくい止めて、きれいに残したいものです。自分といたしましても、こんなことになってしまった以上、生きている責任として少しでも力を出していきたいものです。国も自治体もたくさんのデータが有るかと察します。躊躇せず確かな実行力をみせていただきたい。
女性	70代	自分の家に帰りたと思う気持ちは一番です。しかし、除染しても思うように下がらず、中間貯蔵施設を作った近隣に、本当に住めるのでしょうか？
女性	80歳以上	原子力施設、燃料、汚染水の正確な情報を、継続的に隠さず公開していただきたい。燃料、原子力施設が撤去されるまで、住民の帰還を急がないでいただきたい。中間貯蔵施設は、原因者である東京電力所有の敷地内とすること。これ以上、被災者をいじめないこと。

●その他

性別	年齢	記載内容
男性	30代	国や自治体は賠償に関する支援を、しっかりしていただけるようにお願いします。
男性	40代	国、町の方針を、早く決定してほしい。
男性	50代	震災から2年位なりますが、テレビではあまり原発第1のことは放映されなくなりました。もっと福島第1のことを映してもらいたい。
男性	60代	国、東電は情報をありのままに公表してほしい。賠償は惜しまずにスピーディーに。
男性	70代	町の情報が少なく不安な毎日です。ストレスが増すばかりです。
女性	20代	事実をちゃんと言ってほしい。除染手抜きのニュースをみて、こんなじゃ帰れないと思った。
女性	30代	国は隠さないで全てを公表してください。20年、30年後生きている人達の健康を約束してください。
女性	50代	震災前の生活に戻りたい。先祖の墓を直し、守っていきたい。
女性	60代	町長さんはじめ、議員の皆さんほんとうに町民のため、動いているのでしょうか？
女性	80歳以上	国が、最後まで責任を果たして欲しい。原発事故の責任を確実な物にしてください。